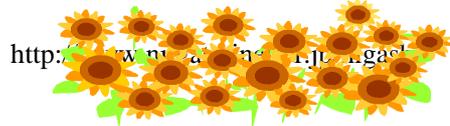


ひまわり通信

40 平成 18 年 11 月 22 日
新潟市立東青山小学校
児童数 647 人
(231)9611 fax(231)9623



いのち輝く子ども

<http://www.niigata-net.or.jp/higashi/i/> (携帯用)
E-mail h-aoyama@niigata-net.or.jp

いじめのない学校づくりへ

いじめの問題がクローズアップされ、大きな社会問題となっています。新潟県でもいじめによろと思われる自殺事故が発生し、大きな衝撃と深い悲しみをもたらしました。

いじめは人権を侵害する行為であり、あってはならないものです。よいいじめと悪いいじめがあると考えている人もいますが、いじめは人権侵害ですので、よいいじめはありませんし、犯罪行為であるという認識をもつ必要があります。非がある友だちがいるかも知れませんが、だからといっていじめてよいということにはなりません。私たちは 100 % いじめ加害者が悪い、という認識で対応する必要があります。また、いじめは人間関係のトラブルによって起きると考えられることから、「どこの学校にもある」「いつでも、だれにでも起きる可能性がある」という認識に立って、注意深く子どもの様子の変化を見取る必要があります。そして、子どもの様子がおかしいと思ったらいち早く事情を聞くなど、早期対応が重要であります。さらに、いじめは見えないところで起きている場合が多いことから、発見が遅れがちです。ですから、いろいろな立場(学校、保護者、地域住民、等)からの情報を共有することが、発見を早めることにつながります。

先日昼の放送でいじめに関する校長講話をしました。「わたしのいもうと」という本を読み聞かせ、いじめにあった女の子の気持ちを分かってもらおうと訴えたのです。ある学級では、子ども達に感想を書かせ、

心情を探りました。「いじめる方も、いじめられる方も幸せにならない。」「だれでもいいから相談した方がよいと思います。」など、真剣に受け止めてくれたようです。そして、どうしたらいじめを防げるか具体的に子ども達と話し合っ

ていきたいと担任は考えています
学校では、今、何件かいじめと思われることに関しての相談を受けています。相談があればすぐに事実関係を把握し、その日のうちに担任が家庭訪問をするなどして家庭と連絡を取り合い、事態の解消に努めています。心配事がありましたら、是非ご連絡ください。

文部科学大臣からのお願い

平成 18 年 11 月 17 日

未来のある君たちへ
弱いちばの友だちや同級生をいじめるのは、
はずかしいこと。
仲間といっしょに友だちをいじめるのは、ひきょうなこと。
君たちもいじめられるちばになることもあるんだよ。
後になって、なぜあんなはずかしいことをしたのだろう、
ばかだったなあと思うより、
今、やっているいじめをすぐにやめよう。

いじめられて苦しんでいる君は、
けっして一人ぼっちじゃないんだよ。
お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、
きょうだい、学校の先生、学校や近所の友だち、
だれにでもいいから、はずかしがらず、一人で苦しまず、
いじめられていることを話すゆうきをもとう。
話せば楽になるからね。きっとみんなが助けてくれる。